

「国境サイクリングIN対馬」

古来より大陸とのクロスロードとして時を刻んできた国境の島・対馬。
国内はもとより国境を越えてサイクリストは、対馬の豊かな自然や独自の文化を体感でき、対馬での新たな交流を創造することを目的として実施されている。



「国境マラソンIN対馬」

日本の渚百選に選ばれた三宇田海水浴場をメイン会場に、アップダウンを繰り返す過酷なコースを攻略すると、自然と笑顔になれる。真夏の太陽、青い海、青い空がランナーを応援してくれる魅力溢れるロケーションが満載。また、大会名のとおり、例年、韓国からの参加者も多く、国際交流が図れるのも魅力の一つです。



「国境の島」



「韓国展望所からの釜山の夜景」



「比田勝国際ターミナル」

対馬は韓国までは直線距離で49.5kmに位置し、「国境の島」と呼ばれている。

地理的な好条件により、平成28年1月の新国際ターミナルの供用開始以来、気軽に行ける海外旅行先として近年増え続ける韓国からの観光客を地域活性化の柱として捉え、民間事業者と連携しリピーターや宿泊者を増やすための取り組みが行われている。

接岸している国際旅客船



韓国からの旅行者を乗せた高速船が毎日就航している。多い日には入出港あわせて16便が運航している時もある。韓国釜山市と比田勝港の間を1時間余りで結んでいる。

韓国展望所



韓国の建築様式を模して建設した展望所。目の前には航空自衛隊のレーダー基地、水平線には韓国の山並みが見える国境の風景

比田勝国際ターミナル



地理的な要因もあり、韓国からの多くの観光客でにぎわっている。平成30年7月博多港と韓国・釜山港を結ぶ高速船の一部の便が博多ー比田勝間での「混乗」により国内航路として利用できるようになり、国内の観光客も見込まれる。